

電話回線用避雷器

形式

VMR-TEL

電話回線

用途

モデム 電話器 ファクシミリなど

対応規格

JIS C 5381-21 準拠 カテゴリ C2, D1

性能

伝送周波数帯域 各種信号	AC 75V ± 20% 16Hz (呼出し) 0.3k ~ 2MHz
動作開始 電圧	線間 DC ± 42.3V 以下
	線接地間 DC 350V ~ 850V インパルス電圧
サージ 電流耐量	線接地間 6,000A (8/20μs)
応答時間	4ns
漏れ電流	線間 5μA 以下 (DC 115V)
	線接地間 5μA 以下 (DC 115V)
静電容量 (参考値)	線間 2pF 以下
	線接地間 2pF 以下

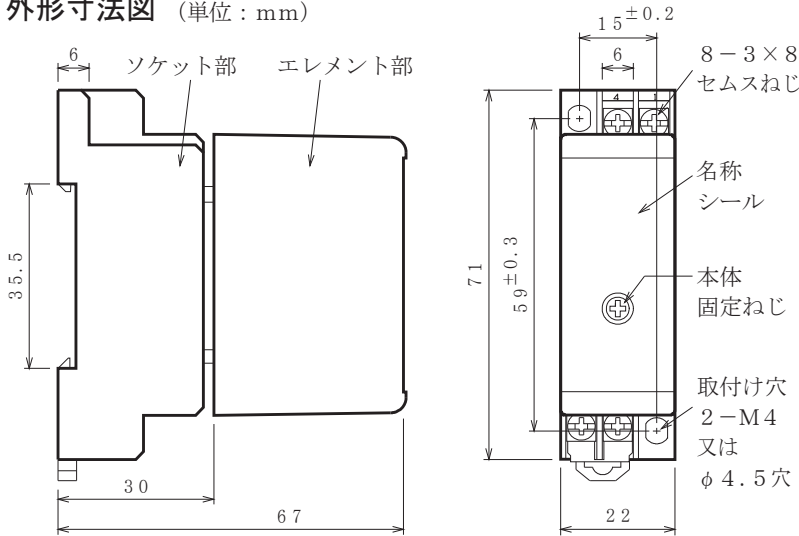
設置仕様

使用温度範囲: -10 ~ +60°C
 使用湿度範囲: 5 ~ 90%RH 以下 (結露しないこと)
 重量: 約 60g

ソケット仕様 (標準付属品)

形式: PYF08A-S
 構造: プラグイン構造
 接続方式: M3ねじ端子接続 (締付トルク 1.2N・m 以下)
 端子ねじ材質: 鉄にクロメート
 ハウジング材質: 黒色プラスチック (難燃性)
 取付: 直取付けまたは DINレール取付け (35mm 巾)

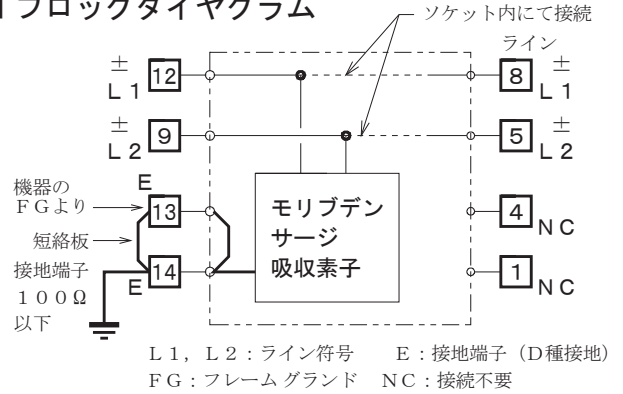
外形寸法図 (単位: mm)



特長

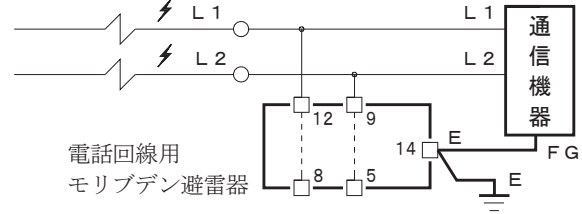
- ・超高速応答時間 4 ナノ秒 (4×10^{-9} 秒)
- ・自復作用
- ・極微小静電容量 2 pF 以下
- ・超高速弁作用 ($0.03 \mu s$)
- ・サージ電流耐量公称値 6,000A
- ・無続流ですから、長時間の過電圧やノイズに影響を受けやすい電話器、モデム、テレメータの保護に最適です。

ブロックダイアグラム

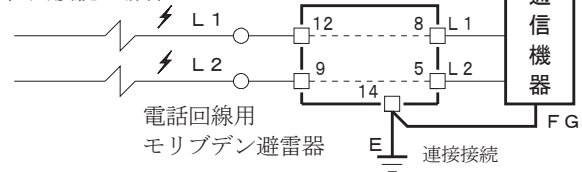


配線例

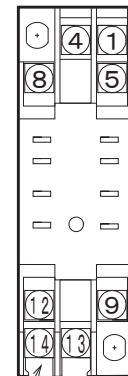
NTT 3.4KHz 専用回線電話回線 並列接続の場合



NTT 3.4KHz 専用回線電話回線 直列接続の場合



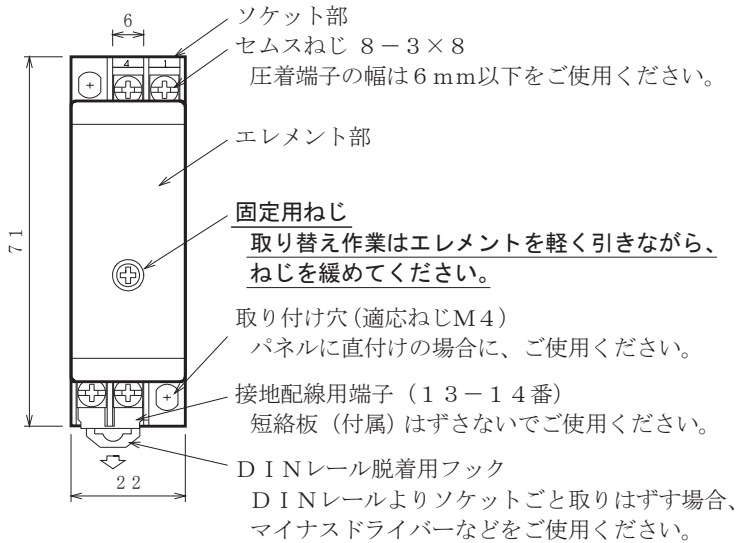
端子配列



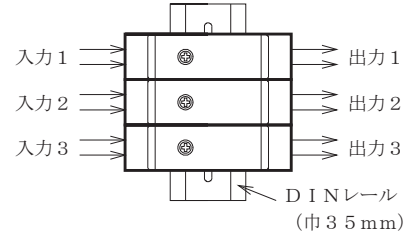
端子名称	番号	符号
ライン	8-12	L1
	5-9	L2
接地	13-14	E
空き	4	NC
	1	NC

本器は、電話、ファクシミリなどの屋外ケーブルから通過してきた誘導雷サージを吸収し、電気通信機器を保護する、電話回線用モリブデン避雷器です。

■ 各部名称 (単位: mm)

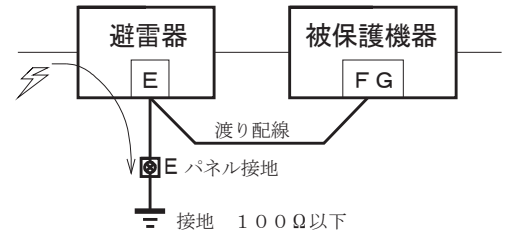


■ 横取付可能



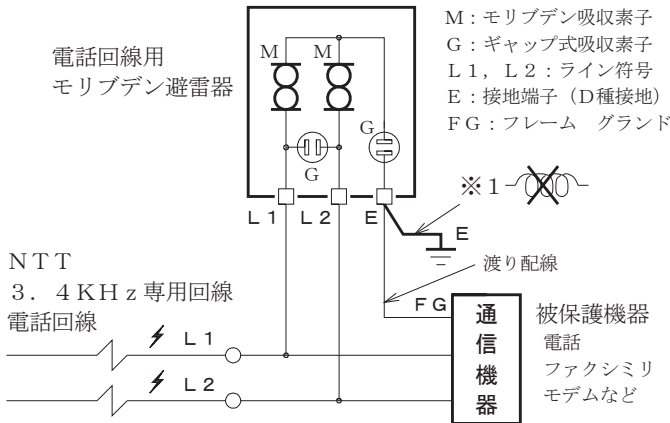
■ 効果的配線

- 保護したい機器のフレームグランド端子を避雷器の端子Eに接続してからパネル接地端子に接続すると被保護機器に誘導雷サージが及ばないようになる。



- 接地線は太く短くすること。
- 長すぎて余った線はループ状にしないこと。※1

■ 配線例



■ 使用上の注意事項

- 接地工事はD種接地 (100Ω以下) にて必ずおこなってください。接地線は2mm²以上を使用して、避雷針アースや高压電力アースとの共用は避けてください。
- ネジの緩みがないように注意
雷サージ通過時ネジの緩みによるギャップがあると、接合部で放電を起し高周波および高電圧を発生します。また、避雷器の応答速度に遅れが生じたり、破損することもあります。(続流対策のない、ギャップ式避雷器との併用もしないでください。)
- 設置場所の湿度範囲は90%以下 (結露しないこと) であることをご確認ください。
- 絶縁抵抗試験時は、漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、関係先の了承を得て避雷器の接地端子接続線を取りはずしておこなってください。
- 同ラインにギャップ式避雷器がある場合は使用しないでください。ギャップ式の続流で不具合を生じる場合があります。

■ 定期点検の方法

- JIS規格による直流電圧を印加して1mA時の電圧を見る方法は、ラインと接地間のモリブデン素子には、おこなわないでください。性質上、直流インパルス電圧もしくは交流電圧による方法となります。
- 避雷器専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。
- わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。